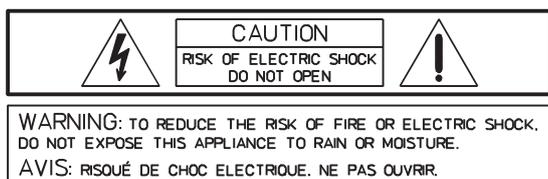




# OPERATORS MANUAL



## 安全のための重要な指示



正三角形の中に稲妻がある図形は、感電の危険がある絶縁していない「危険な電圧」がケース内に存在していることをユーザーに警告しています。



正三角形の中に感嘆符がある図形は、本機器に添付してある取扱説明書に記述してある操作と保守（サービス）に関する重要な指示を読むようユーザーに示しています。

## 重要なサービスに関する指示

注意：このサービスに関する指示は資格を有するサービスマンに対する指示です。感電の危険を防止するために、本取扱説明書に記述してある以外のサービスは、特にそれを行う資格を持っていない限り行わないでください。サービスはサービスマンに依頼してください。

1. 機器にサービスを行うときは、EN60065（VDE 0860 / IEC 65）と CSA E65 - 94 に記述されている安全法令を必ず守ってください。
2. 機器のカバーを外して保守・修理をする時に、操作する必要があり、機器が主電源に接続されている場合は、主電源セパレータートランス（mains separator transformer）を必ず使用してください。
3. 延長コードの再接続、主電源電圧または出力電圧の電圧変更の際は、電源をスイッチでオフにしてください。
4. 主電源の電圧がかかっている部品と手に触れやすい金属部品（金属製筐体）間および主電源の極間の最小距離は3mmです、常に3mmを保つようにしてください。  
主電源の電圧がかかっている部品と主電源に接続されていないスイッチやブレーカー（2次側の部品）間の最小距離は6mmです、常に6mmを保つようにしてください。
5. 回路ダイアグラムの中で安全マーク（注）が付けてある特別な部品（コンポーネント）の交換は、オリジナルの部品（コンポーネント）と交換してください。
6. 事前の同意またはアドバイスなしの回路変更は合法的な変更と見なされません。
7. 機器をサービスしている国または地域で適用する作業安全に関する法令は確実に守ってください。これは作業現場自体に関するどの法令にも適用します。
8. MOS の取扱いに関する指示は必ず守ってください。



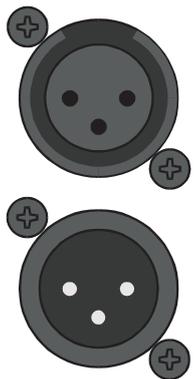
**注：正三角形のマーク 安全部品（コンポーネント）、「交換は必ずオリジナル部品で交換してください。」**

# VENICE CONNECTORS

## VENICE 160

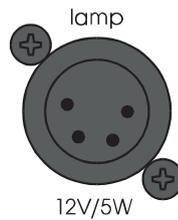


## VENICE 240



### Input / Output XLR

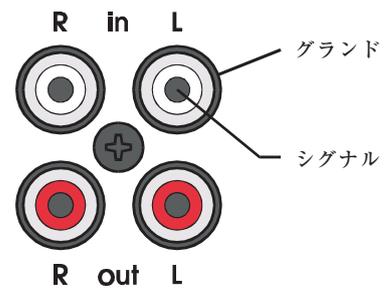
- Pin 1: グランド
- Pin 2: ホット
- Pin 3: コールド



### Lamp out

- Pin 1: シャーシ
- Pin 2: 未使用
- Pin 3: シャーシ
- Pin 4: +12V

### Tape IN / OUT



### Insert

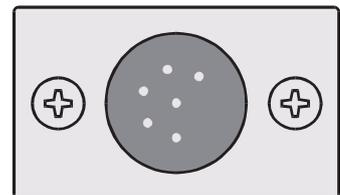
- Tip: センド
- Ring: リターン
- Sleeve: グランド



### Input / Output

- Tip: ホット
- Ring: コールド
- Sleeve: グランド

### External Power Supply



## 注意

コンソールには以下にリストしてある特別な制約が適用します、安全と電磁的互換性の性能を維持するためにこれら制約は順守してください：

### 電源接続

コンソールに使用する電源は主電源コネクターを経由してアースを接続できる電源を使用してください。

### オーディオ接続

コンソールへの接続には高品質のシールドされたより線のオーディオケーブルを使用してください。コネクターはシェルが金属構造のもので、コンソールのジャックに差し込んだときシールドの役をするコネクターを使用してください。ジャックコネクターシェルはすべてケーブルシールドに接続してください。XLRコネクターはすべてピン1をケーブルのシールドに接続をしてください。

## 設置場所

ミキシングコンソールの設置に際して多くの考慮すべきポイントがあります。コンソールを開梱するまでにポイントを多く説明しますが、繰り返し説明しても十分意義がありますのでここでも繰り返します。

### コンソール設置場所

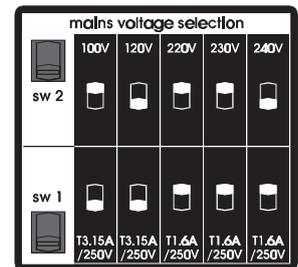
コンソールはコンソールを使用する目的に合せた使い勝手の良い場所に設置します。配電装置やその他の妨害源となる機器の近くでない涼しい場所が理想的です。コンソールをテーブル代わりに使用することを防止するためコンソールの周囲の平らな面の部分に、なにか対策を立ててください。

### 内部電源

コンソールは内部に電源装置を装備しています。装置は適切な電圧に設定して付属のケーブルで主電源ソケットと接続をしてください。

### 主電源の電圧設定

コンソールは指定された主電源電圧に設定してから出荷します(リアパネル記載の電圧を参照)。主電源電圧をコンソールの底部にある主電源電圧セレクターで変更したら、主電源のフューズはラベル上の選択した電圧に適応する規格に変更する必要があります。



### VENICE 240/320 の追加外部電源装置 (EPS1200)

接続ケーブルが許すかぎり電源装置をコンソールから離して設置してください。電源装置は正しい主電源電圧に設定して付属ケーブルを使用し、主電源ソケットに差し込んでください。外部電源装置の電源をONにすると内部電源は無効になります。この場合内部電源は予備電源として動作します。

外部電源装置から電源を供給されているコンソールは必ず主電源のアースを接続してから操作してください。

電源装置には致命的な電圧が存在していて、ケーブルに非常に大量な電流が流れるので、ショートすると機器や配線から火災が発生する恐れがあります。テストとサービスはすべて資格のあるエンジニアが行ってください

## 目次

モノ入力チャンネル .....	6
ステレオ入力チャンネル.....	10
グループ.....	15
エフェクト.....	16
モニター.....	17
AUX .....	18
マスター A/B テープイン .....	19
トークバック/フォーンとスピーカ .....	20
ディスプレイ/ランプ/フォーン.....	21
ブロックダイヤグラム .....	22
仕様 .....	25
寸法 .....	28

# MIDAS VENICE MONO INPUT CHANNEL



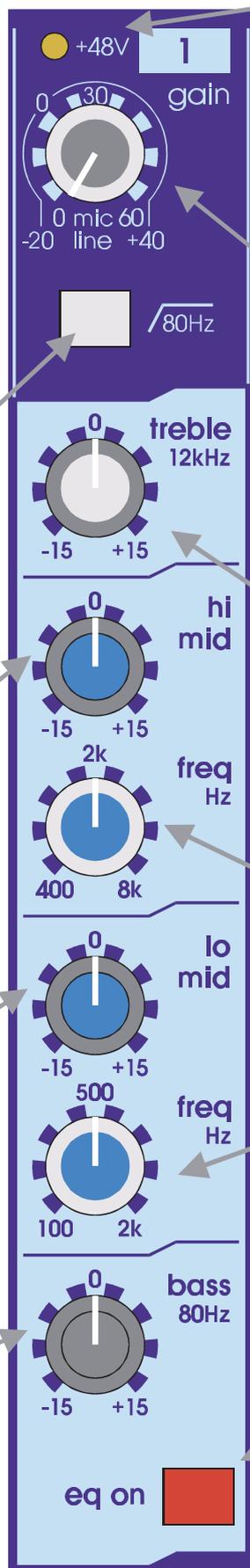
Veniceモノチャンネルにはマイクまたは+22dBuまでのラインレベル信号で受けることの出来るXLR入力コネクタがあります。それと1/4インチのホンジャックが1個ありラインレベル信号を受けることが出来ます。これは、偶発的な48Vとの接続を防止することに役立ちます、ラインレベル入用の1/4ホンジャック入力は入力信号を常に20dB減衰しますので最大+42dBuの極端に高いラインレベル信号を入力できます。

HI PASSスイッチは、インサートポイントとイコライザーの前で入力チャンネル信号ラインに80Hzのハイパスフィルターを接続します。

HI MIDコントロールは0dBをセンターとして+15dBから-15dBまでのブーストとカットを連続して調整することができます。

LO MIDコントロールは0dBをセンターとして+15dBから-15dBまでのブーストとカットを連続して調整することができます。

BASSコントロールは0dBをセンターとして+15dBから-15dBまでのブーストとカットを連続して調整することができます。Bassイコライザーは伝統的なMIDASシェルビング特性により80Hzで動作をします。



ファンタム電源を使用すると+48VのLEDが点灯します。各チャンネルの+48Vスイッチはコンソールのリアパネルに取付けてあります。スイッチは+48Vのファンタム電源をXLRコネクタに接続します。これはコンデンサーマイクやDIボックスに使用できます。

GAINコントロールは入力アンプのゲインを、マイク入力では0dBから+60dBまで、ライン入力では-20dBから+40dBまでを連続して調整することができます。

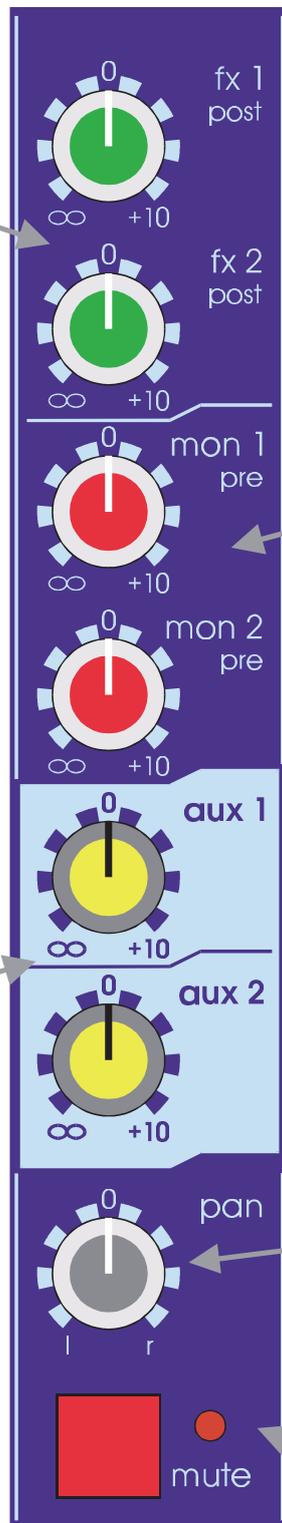
TREBLEコントロールは0dBをセンターとして+15dBから-15dBまでのブーストとカットを連続して調整することができます。TREBLEイコライザーは伝統的なMIDASシェルビング特性により12kHzで動作します。

HI MID FREQコントロールは、HI MIDイコライザーが動作する400Hzから8kHzまでの周波数を1オクターブの帯域幅で連続して調節することができます。

LO MID FREQコントロールは、LO MIDイコライザーが動作する100Hzから2kHzまでの周波数を1オクターブの帯域幅で連続して調整することができます。

EQスイッチは入力チャンネル信号ラインにイコライザー回路を接続します。

FXコントロールは入力チャンネルからFXバスに送られるポストフェーダーレベルを連続して調整することができます。レベル調整幅はロータリーコントロールのセンターで0dBとして+10dBからオフまでです。



AUXコントロールは入力チャンネルからAUXバスに送られるレベルを連続して調整することができます。レベル調整幅はロータリーコントロールのセンターで0dBとして+10dBからオフまでです。

AUX-1とAUX-2は、マスターセクションのAUXマスターポットの隣にあるPRE/POSTスイッチを切り替えることで全体的にプリフェーダーまたはポストフェーダーの操作に構成を変えることができます。

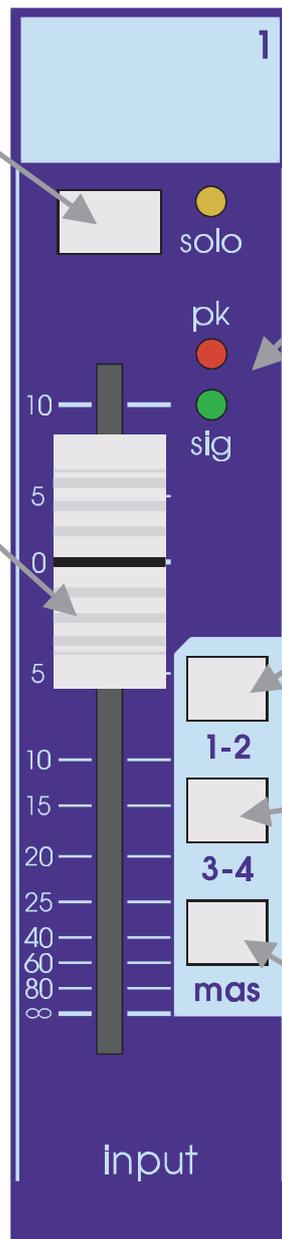
MONコントロールは入力チャンネルからMONバスに送られるプリフェーダーとプリコライザー信号を連続して調整することができます。レベル調節幅はロータリーコントロールのセンターで0dBとして+10dBからオフまでです

PANコントロールはマスターステレオまたはグループミックス内でのチャンネル定位をコントロールし、電力和一定型となっています。センターポジションで-3dBとなり、どちらか極端な設定の時は0dBまたはオフとなります。

MUTEスイッチはインサートセンド後の全ポイントで、全ての送り(FIX, AUX, MON)を含め入力チャンネルをミュートします。

SOLOスイッチは入力チャンネル信号をPFL/モノとAFL/ステレオバスに送ります。スイッチを使用すると、mon-1と2のメーターは自動的にソロメーターに切り変わり、表示します。

FADERは入力チャンネルレベルを+10dBからオフまで連続して調整することができます。



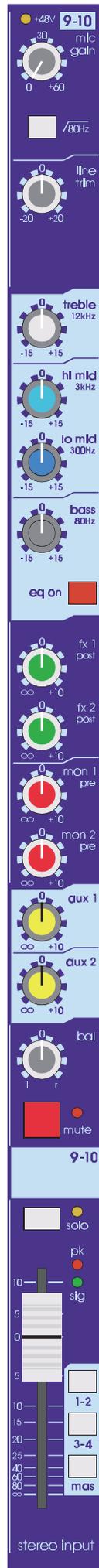
SIGNAL (-16dBu) /PEAK (+16dBu) LED表示は入力チャンネルのプリフェーダーのピーク信号レベルを表示します。

1-2スイッチはパンコントロールを経由してポストフェーダーチャンネル信号をグループ1-2バスに接続します。

3-4スイッチはパンコントロールを経由してポストフェーダーチャンネル信号をグループ3-4バスに接続します。

MASスイッチはパンコントロールを経由してポストフェーダー信号をマスターステレオバスに接続します。

# MIDAS VENICE STEREO INPUT CHANNEL



Veniceステレオ入力チャンネルにはマイクまたは+22dBuまでのラインレベル信号に使用できるXLR入力コネクタがあります。2個の1/4インチジャックソケットに+28dBuまでのステレオまたはモノラインレベル信号を入力できます。ステレオチャンネルはモノチャンネルと同じ高音質マイクプリアンプが特長です。ステレオ入力チャンネルはマイクとステレオラインに独立した回路を使用しているので、全入力を干渉することなく同時に接続することが可能です。

LINE TRIMコントロールはステレオ入力アンプゲインを-20dBから+20dBまで連続して調整することができます。

HI MIDコントロールは0dBをセンターとして+15dBから-15dBまでのブーストとカットを連続して調整することができます。HI MIDイコライザーは1.4オクターブの帯域幅で3kHzで動作します。

BASSコントロールは0dBをセンターとして+15dBから-15dBまでのブーストとカットを連続して調整することができます。Bassイコライザーの帯域幅は伝統的なMIDASシェルビング特性により80Hzで動作します。



個々のチャンネルのための+48Vファンタム電源スイッチは、コンソールのリアパネルにあり、ファンタム電源を使用すると+48VのLEDが点灯します。スイッチは+48Vのファンタム電源をXLRコネクタに接続します。これはコンデンサーマイクやDIボックスに使用できます。

MIC GAINコントロールはXLRマイク入力コネクタに入力アンプゲインを0dBから+60dBまでを連続して調整することができます。

HI PASSスイッチはマイク入力アンプのすぐ後にある入力チャンネル信号経路に80Hzハイパスフィルターを接続します。

TREBLEコントロールは0dBをセンターとして+15dBから-15dBまでのブーストとカットを連続して調整することができます。TREBLEイコライザーは伝統的なMIDASシェルビング特性にて12kHzで動作します。

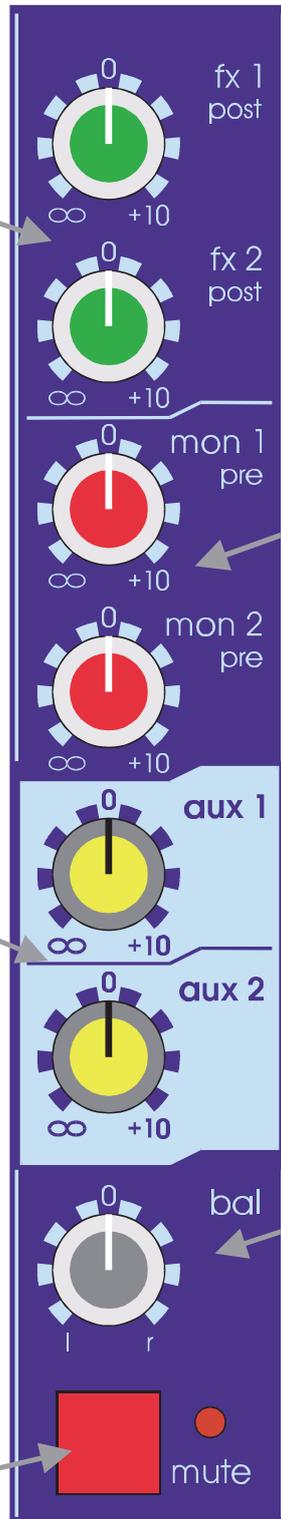
LO MIDコントロールは0dBをセンターとして+15dBから-15dBまでのブーストとカットを連続して調整することができます。LO MIDイコライザーは1.4オクターブの帯域幅で300Hzで動作します。

EQスイッチは入力チャンネル信号ラインにイコライザー回路を接続します。

FXコントロールは入力チャンネルからFXバスに送られたレベルを連続して調整することができます。レベル調節幅はロータリーコントロールのセンターを0dBとして+10dBからオフまでです。FXコントロールは接続されたポストフェーダーのL/Rミックス信号をFXバスに送ります。

AUXコントロールは入力チャンネルからAUXバスに送られたL/Rミックス信号を連続して調整することができます。レベル調節幅はロータリーコントロールのセンターを0dBとして+10dBからオフまでです。AUX-1とAUX-2は、マスターセクションのAUXマスターポットの隣にあるPRE/POSTスイッチを切り換えることで全体的にプリフェーダーまたはポストフェーダーの操作に構成を変えることができます。

MUTEスイッチはインサートセンド後の全ポイントで、全ての送り(FIX, AUX, MON)を含め入力チャンネルをミュートします。

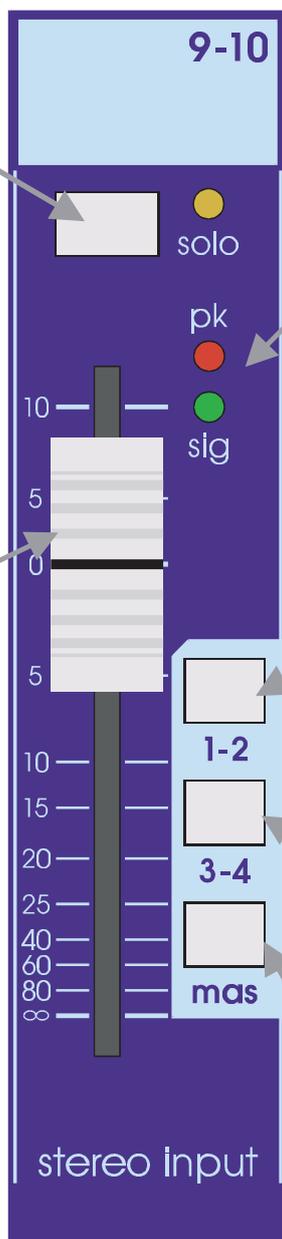


MONコントロールは入力チャンネルからMONバスに送られたレベルを連続して調整することができます。レベル調節幅はロータリーコントロールのセンターを0dBとして+10dBからオフまでです。MONコントロールは接続されたプリフェーダー、プリコライザーのL/Rミックス信号をMONバスに送ります。

BAL (パン) コントロールはマスターまたはグループに送られたL/Rのチャンネル信号の相対的なレベルをバランスコントロールするために使用します。バランス幅はロータリーコントロールのセンターで-3dB、両端のセッティングでは0dBまたはオフという定数になっています。ステレオチャンネルをモノ入力(Lchのみ入力)として使用すると、BALANCE (パン) がマスターステレオまたはグループミックス内でチャンネルの定位をコントロールします。

SOLOスイッチは入力チャンネル信号をPFL/モノバスとAFL/ステレオバスに送ります。スイッチを使用すると、mon-1と2のメーターを自動的にソロメーターに切り換え、表示します。

FADERは入力チャンネルレベルを+10dBからオフまで連続して調整することができます。



SIGNAL (-16dB)/PEAK (+16dB) LEDディスプレイはプリフェーダー入力チャンネルのピーク信号レベルを表示します。

1 - 2スイッチは、bal (pan) コントロールを経由してポストフェーダーチャンネル信号をグループ1 - 2バスに接続します。

3 - 4スイッチは、bal (pan) コントロールを経由してポストフェーダーチャンネル信号をグループ3 - 4バスに接続します。

MASスイッチは、bal (pan) コントロールを経由してポストフェーダーチャンネル信号をマスターステレオバスに接続します。

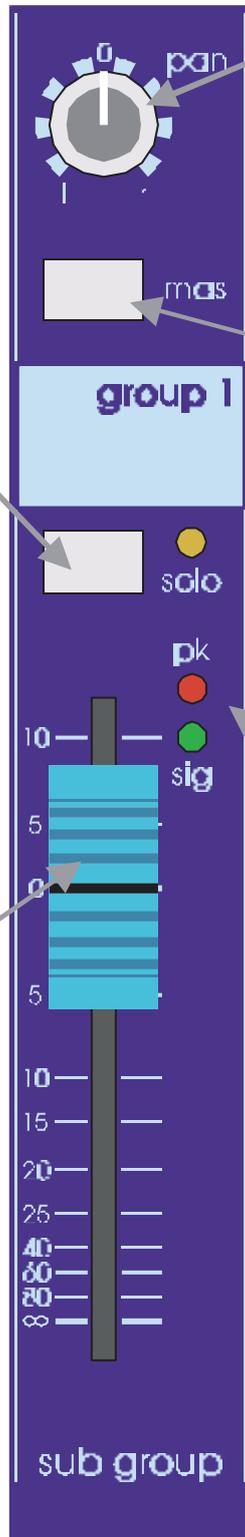
# MIDAS VENICE MASTER SECTION

The diagram illustrates the Master Section of the Midas Venice console, organized into several functional columns and rows:

- fx 1 & fx 2:** Each column contains two send knobs (0 to +10 dB) and two monitor (mon 1, mon 2) pre knobs (∞ to +10 dB).
- return-routing:** Two columns with checkboxes for routing to 1-2, 3-4, and mas.
- 1 mon 2:** A central column with a grid of gain controls for left and right channels. Values range from -24 dB to +16 dB. Includes a 0 dB = 0 dBu reference.
- masters:** A column with gain controls for mon 1 and mon 2.
- talkback:** A column with a level knob (∞ to +30 dB) and checkboxes for mon, aux, grp, and mas.
- Phones & Speakers:** Two knobs for 'phones a/b' and 'speakers', both ranging from ∞ to +10 dB.
- Mute/Solo:** A row of four columns (fx 1, fx 2, mon 1, mon 2) with red 'mute' buttons and yellow 'solo' buttons.
- Level Meters:** A row of four columns with vertical level meters for 'return' (fx 1, fx 2) and 'send' (mon 1, mon 2). Scales range from ∞ to 10 dB.
- Source Selection:** A knob for 'source' (mas, tape) and a 'solo' knob (-20 to +20 dB).
- Tape In:** A knob for 'tape in' (∞ to +20 dB) and a 'mas' button.
- Masters B:** A knob for 'masters b' level (∞ to +10 dB) and checkboxes for stereo, mono, pre, and post.
- Auxiliary:** Two columns for 'aux 1' and 'aux 2', each with 'pre' (yellow) and 'post' (green) buttons, a 'send' knob (∞ to +10 dB), and 'mute' (red) and 'solo' (yellow) buttons.
- Pan & Balance:** A row of five knobs for 'pan' (l-r) and 'bal', each with a 'mas' button and a 'mute' button.
- Group & Master:** A row of five columns for 'group 1-4' and 'masters', each with a 'solo' button and a 'pk' (red) indicator.
- Subgroup & Masters:** A row of five columns for 'sub group' and 'masters', each with a 'slg' (green) indicator and a vertical level meter (∞ to 10 dB).

SOLOスイッチはグループ信号をPFL/モノバスと AFL/ ステレオバスに送ります。スイッチは使用すると mon-1 と 2 のメーターを自動的にソロのメーターに切り変わり、表示します。

GROUP フェーダーはサブグループの出力レベルを+10dBからオフまでを連続して調整することができます。



PANコントロールはマスターステレオミックス内のグループの定位をコントロールして、その範囲はロータリーコントロールのセンターで-3dB、両端のセッティングでは0dBまたはオフという定数でコントロールします。

MASスイッチは、パンコントロールを経由してポストフェーダーグループをステレオマスターバスに接続します。

SIGNAL (-16dB)/PEAK (+16dB) LEDディスプレイはグループバスの信号レベルを表示します。

FX SENDコントロールはFXセンド出力レベルをロータリーコントロールのセンターを0dBとして、+10dBからオフまでを連続して調整することができます。

1 - 2スイッチはポストフェーダーFXリターンのLch信号をグループ1バスに、Rch信号をグループ2バスに接続します。

3 - 4スイッチはポストフェーダーFXリターンのLch信号をグループ3バスに、Rch信号をグループ4バスに接続します。

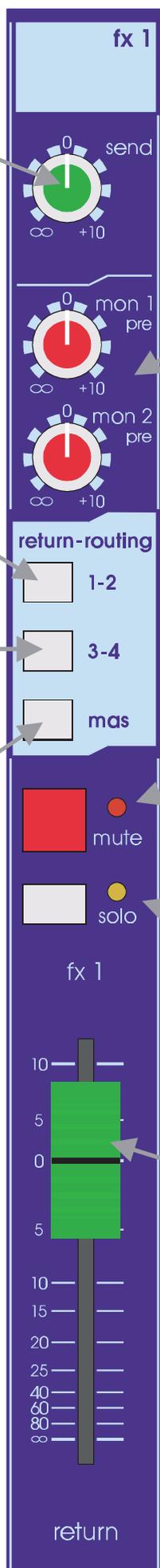
MASスイッチはポストフェーダーFXリターンステレオ信号をステレオマスターバスに接続します。

MONコントロールはFXリターンチャンネル信号をMONバスに送るプリフェーダー信号を連続して調整することができます。レベル調節幅は、ロータリーコントロールのセンターを0dBとして、+10dBからオフまでを連続して調整することができます。

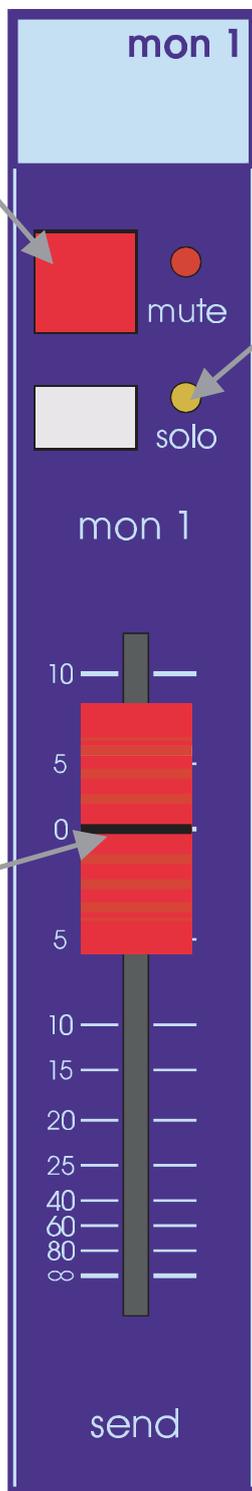
MUTEスイッチはFXリターンを全ポイントでミュートします。

SOLOスイッチはFXリターン信号をPFL/モノとAFL/ステレオバスに送ります。スイッチを使用するとmon-1と2のメーターは自動的にソロのメーターに切り変わり、表示します。

FADERはFXリターンレベルを10dBからオフまで連続して調整することができます。



MUTEスイッチはモニターセンド出力信号をミュートします。



SOLOスイッチはモニターセンド信号をPFL/モノバスとAFL/ステレオバスに送ります。スイッチを使用するとmon-1と2のメーターは自動的にソロのメーターに切り変わり、表示します。

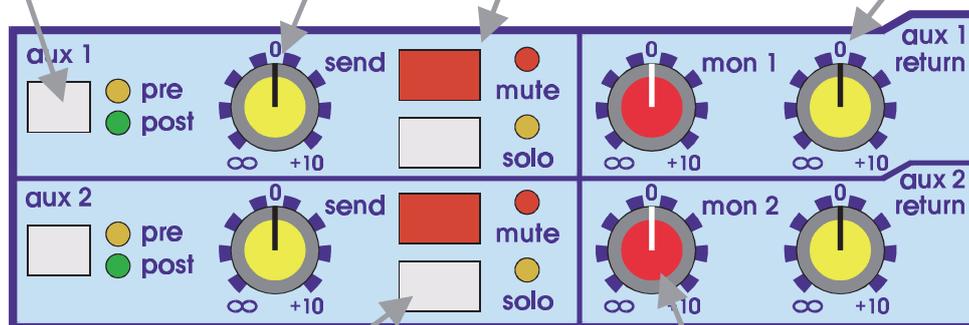
MON SEND フェーダーはモニターセンド信号を+10dBからオフまで連続して調整することができます。

AUX PRE/POST スイッチは、全体的に aux バスをプリフェーダー (pre) またはポストフェーダー (post) 操作に構成します。スイッチの隣の LED が状態を表示します。

MUTE スイッチは aux センド出力信号をミュートします。aux リターンには影響しません。

AUX SEND コントロールは、ロータリーコントロールのセンターを 0dB として、+10dB からオフまで連続して調整することができます。

AUX RETURN コントロールはステレオ aux リターンレベルを、ロータリーコントロールのセンターを 0dB として +10dB からオフまで連続して調整することができます。aux リターン信号は L/R マスターバスに直接信号を送ります。



SOLO スイッチは aux センド信号を PFL/モノと AFL/ステレオバスに送ります。SOLO スイッチを使用すると mon-1 と 2 のメーターを自動的にソロのメーターに切り換え、表示します。

MON コントロールは aux リターンから MON バスに送られるレベルを連続調整します。レベル調節幅はロータリーコントロールのセンターを 0dB として、+10dB からオフまで連続して調整することができます。

TAPE 入力はアンバランスのフォノソースからのフィード（入力信号）をステレオマスターバスまたはヘッドフォンとスピーカ出力に供給します。TAPE IN レベルコントロールは、ロータリーコントロールのセンターを 0dB として +20dB からオフまでのわずかな連続調整を行う事ができます。

MASTER B ロータリーコントロールはマスター B（ステレオ/モノ）出力レベルをロータリーコントロールのセンターを 0 dB として +10dB からオフまでを連続して調整することができます。

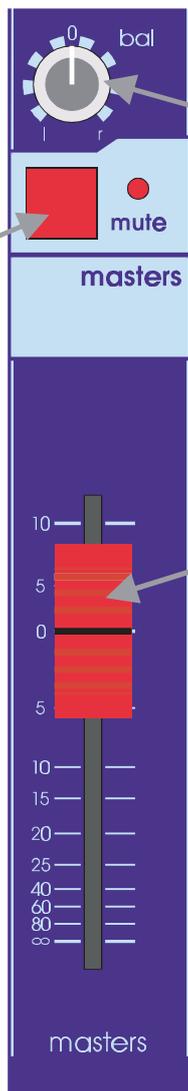
STEREO/MONO スイッチでマスター B 出力を 2 つのモードに構成することができます。ステレオモードでは、マスター B 出力はステレオ L/R のミキシング信号を送り出し。モノモードでは L/R 信号をミックスして送ります。

MUTE スイッチはマスターとマスター B 出力に送られる全信号をミュートします。マスターへ送られる TAPE IN 信号だけは MUTE スイッチの影響を受けません。



MAS スイッチはマスターミュートスイッチのすぐ後で TAPE IN 信号をマスター L/R バスに接続します。マスターミュートスイッチが使用中であっても、これでショーの最中にバックグラウンドミュージックを流すことができます。TAPE OUT を使用して録音中は MAS スイッチをオフにしておきます。

PRE/POST スイッチはマスター B 出力に送られているマスターフェーダーの前の信号をポストマスターフェーダーに変更することができます。



BAL コントロールは、マスター出力に送られている L/R のマスター信号の相対的レベルをバランスコントロールするのに使用します。バランス幅はセンターで 0dB、両端で +3dB とオフの定数で調節することができます。

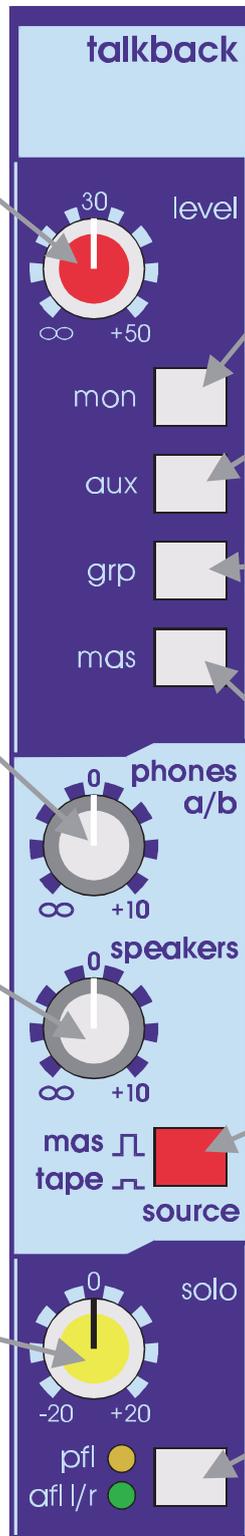
ステレオフェーダーは L/R ミキシングレベルを +10dB からオフまで連続して調整することができます。

talkback (トークバック) LEVEL コントロールはトークバック信号を+50dBからオフまで連続して調整することができます。トークバック入力には最大入力+8dBuのレベルを入力することができます。

PHONES レベルコントロールはヘッドフォン出力 a と b のレベルを+10dBからオフまで連続して調整することができます。

SPEAKERS レベルコントロールはL/Rのスピーカ出力の信号を、ロータリーコントロールのセンターで0dBとして、+10dBからオフまで連続して調整することができます。

SOLO コントロールは入力ソロレベルをヘッドフォンとスピーカ出力の前で調節します。調節幅はロータリーコントロールのセンターで0dBとして、-20dBから+20dBまでです。



ラッチのかからないMONスイッチはトークバックマイクをmon1とmon2のバスに接続します。

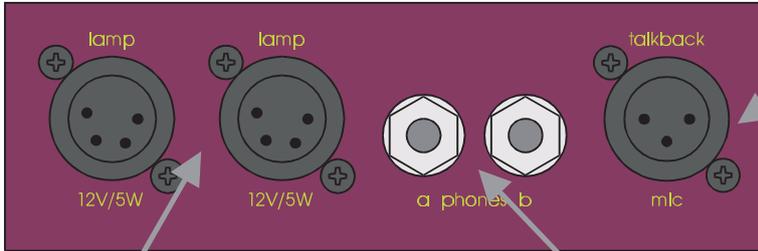
ラッチのかからないAUXスイッチはトークバックマイクをaux1とaux2のプリバスに接続します。

ラッチのかからないGRPスイッチはトークバックマイクを全グループバスに接続します。

ラッチのかからないMASスイッチはトークバックマイクをL/Rのマスターバスに接続します。

ソロボタンを使用していないと、SOURCEスイッチは、テープインまたはマスター信号をヘッドフォンとコントロールルームスピーカ出力に出力します。

ソロボタンが使用中であると、PFL/AFLスイッチは、モノプリフェーダーリッスンまたはステレオアフターフェーダーリッスン信号をヘッドフォンとコントロールルームスピーカ出力に出力します。



TALKBACKマイクには3ピンのメスのXLRコネクタ経由で入力します。コンデンサーマイクに適した+48Vのファンタム電源が常時接続されています。

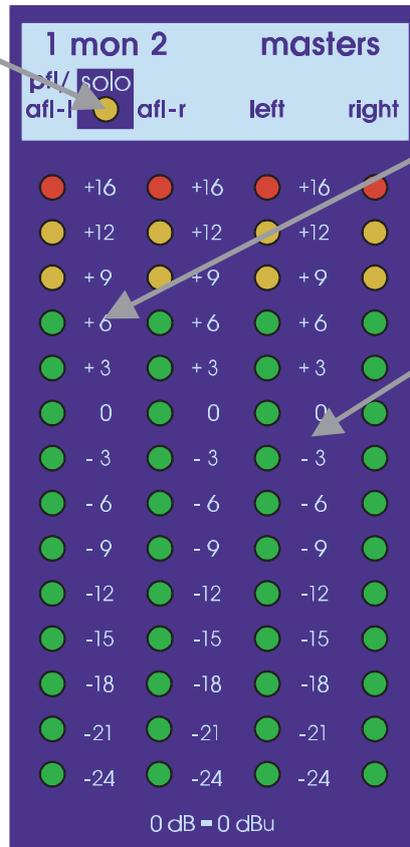
12Vのデスクランプ用4ピンのメスのXLRコネクタが2個あります。各コネクタの容量は5Wなので、それを超えないようにしてください。

PHONES用1/4インチのステレオ出力ジャックソケットが2個あります。どちらのソケットもフォーンロータリコントロールで調整することができます。

SOLOボタンを使用しているとSOLO LEDが点灯し、mon-1とmon-2メーターを自動的にソロメーターとして表示します。

pflモードでは、mon 1メーターがプリフェーダーのポジションで選択したソロソースの信号レベルをdBuで表示します。

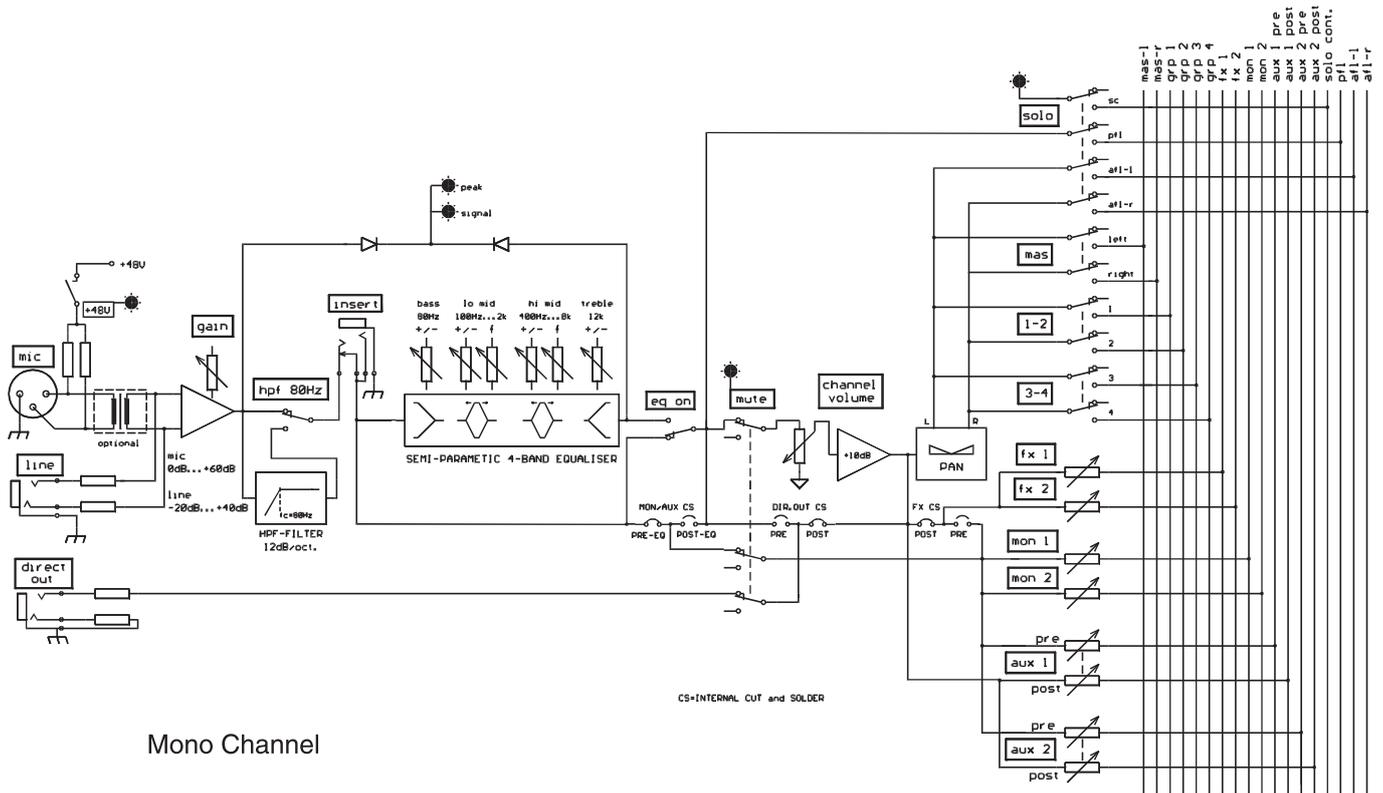
aflモードでは、mon1 (afl-l)とmon2 (afl-r)メーターが動作し、アフターフェーダーのポジションでのステレオイメージの信号レベルをdBuで表示します。



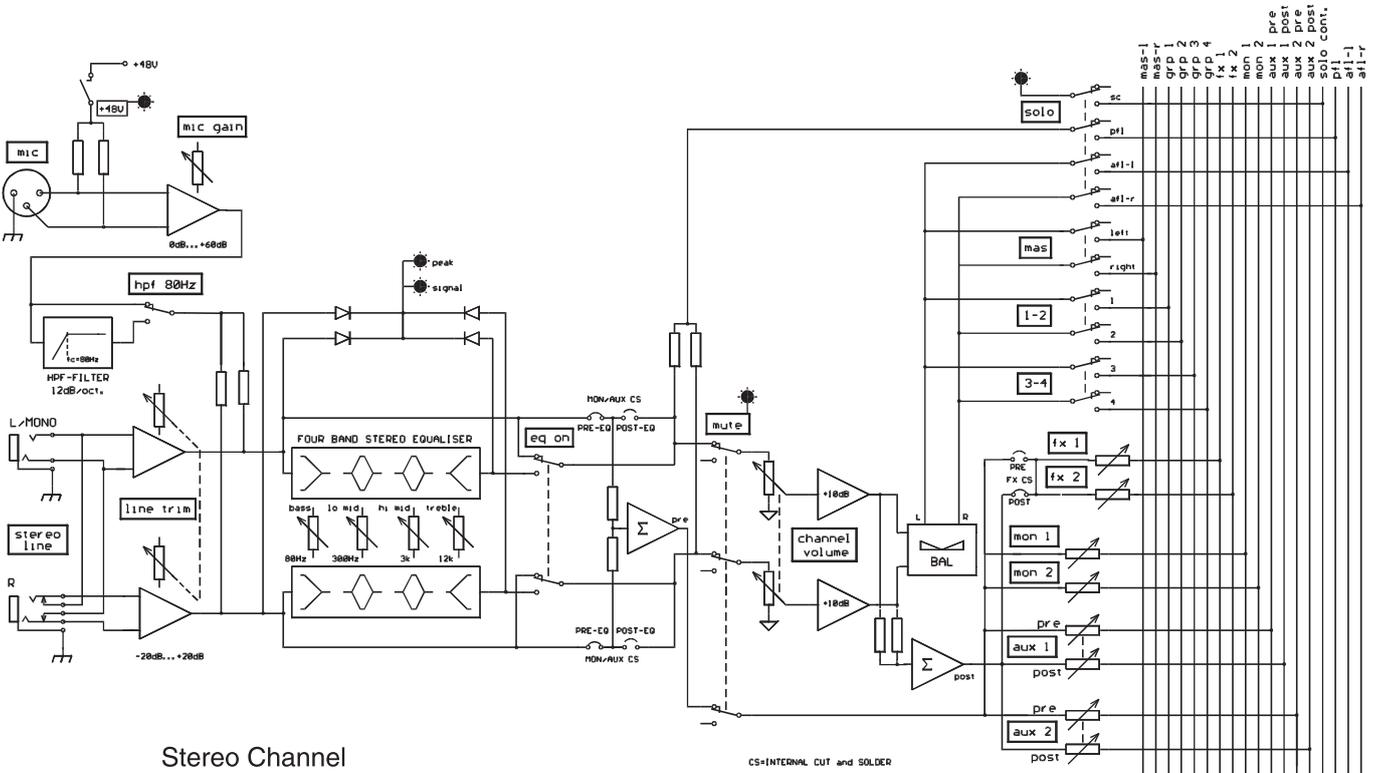
MONメーターはモニター出力のポストフェーダーのピーク信号レベルを表示します。ソロボタンを使用していると、選択したpflまたはaflソロソースのピーク信号レベルを表示します。

MASTERメーターはL/Rのマスター出力（ポストフェーダー）のピーク信号レベルをモニターします。

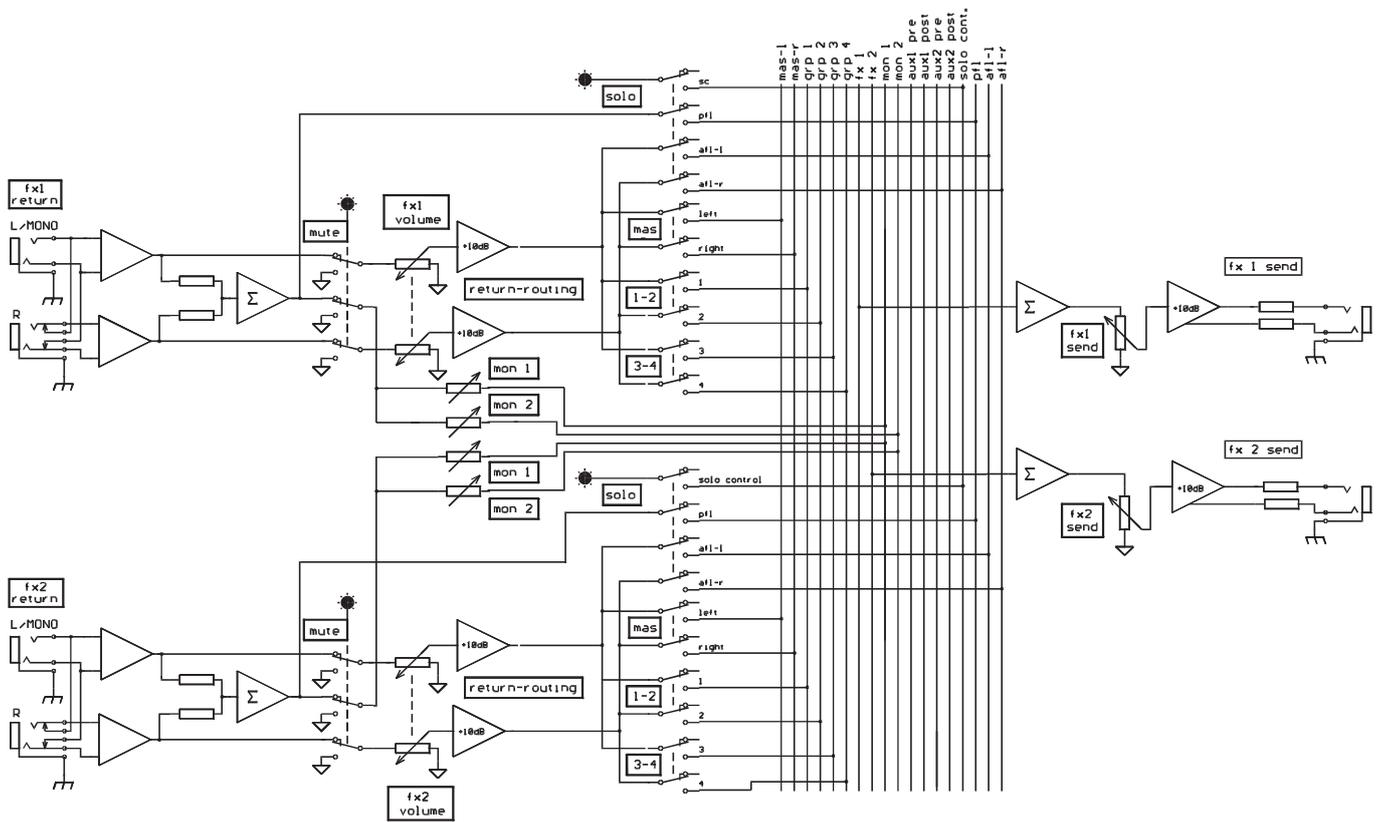
# BLOCK DIAGRAMS



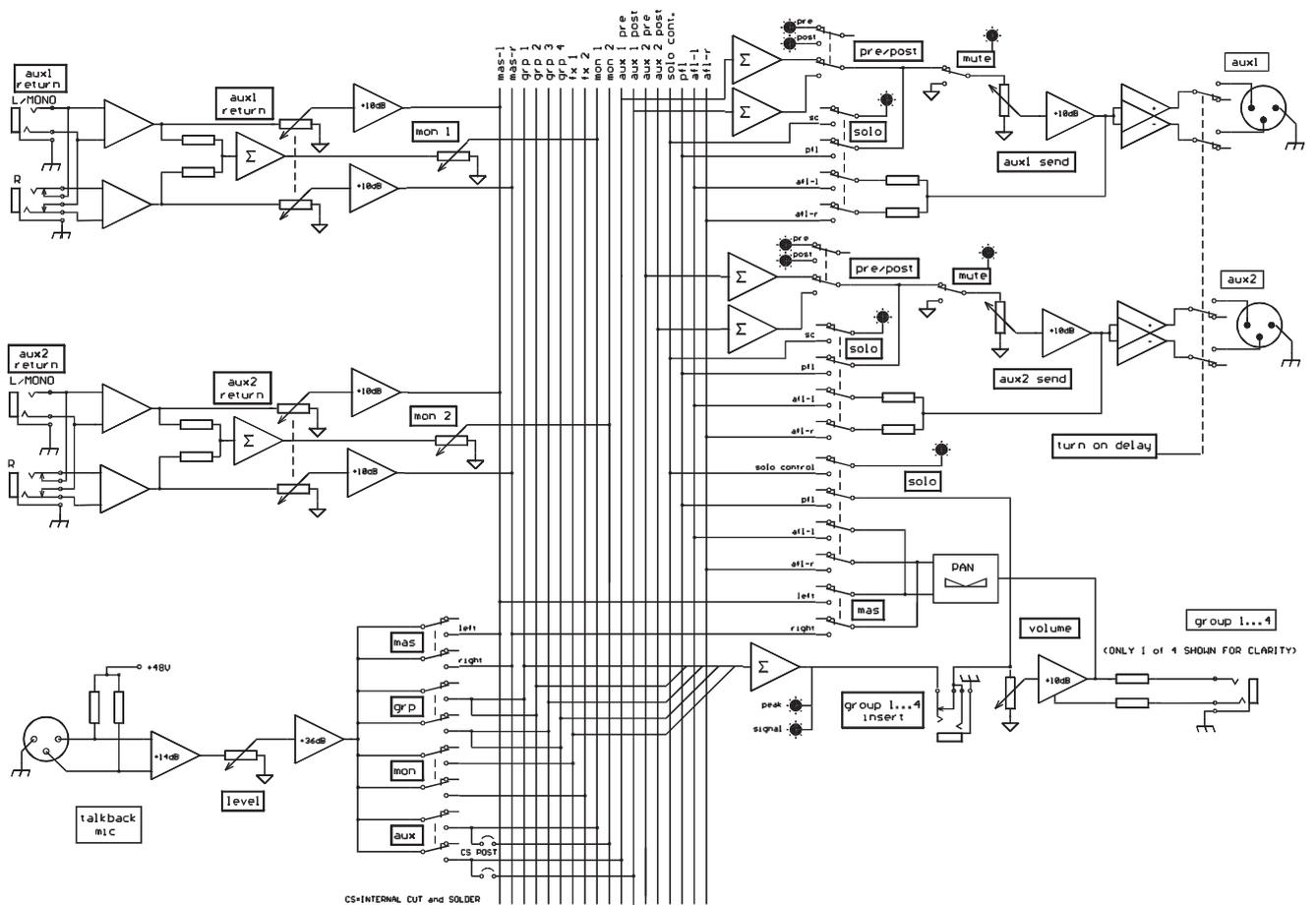
Mono Channel



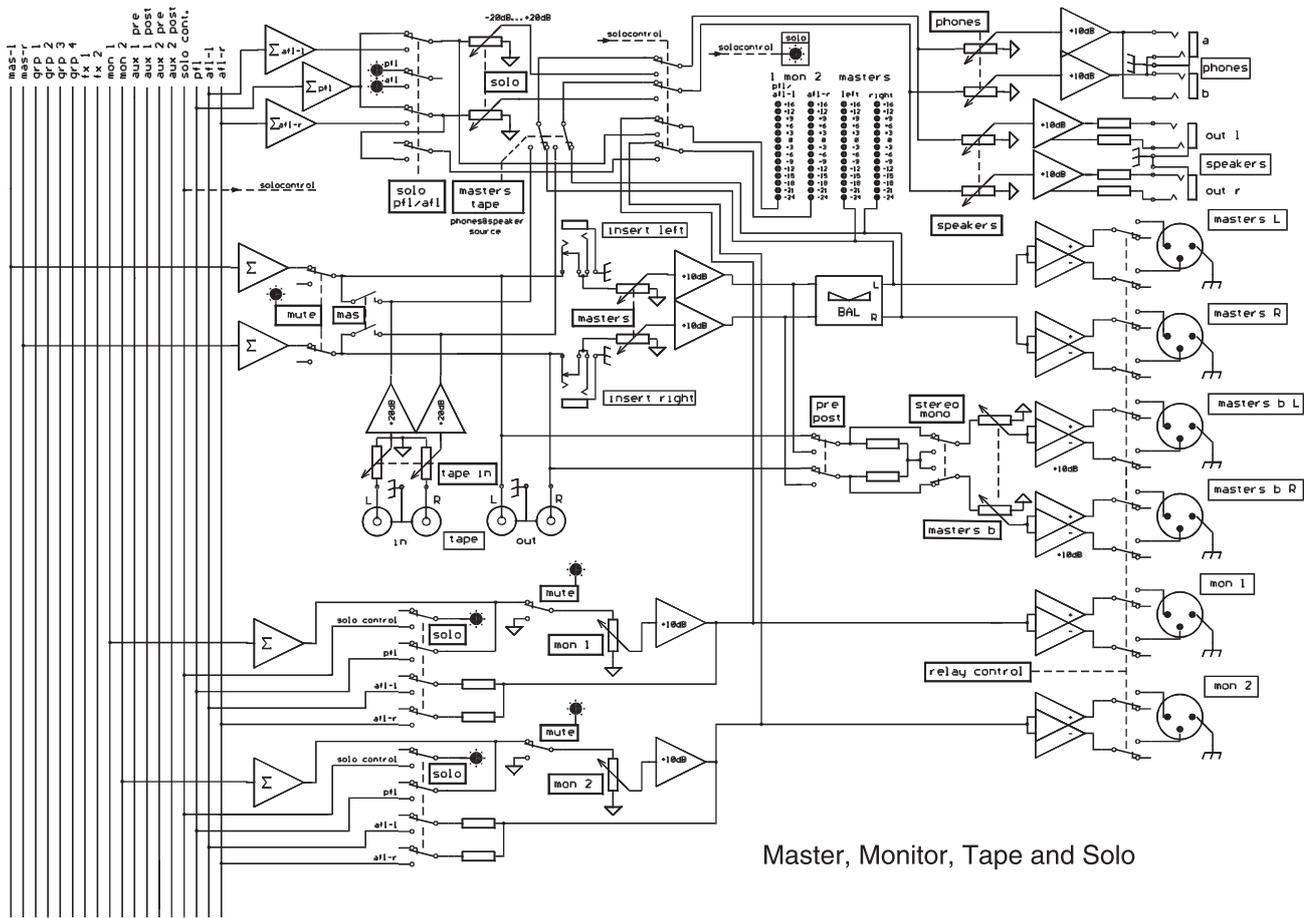
Stereo Channel



FX-send, FX-return



Aux, Groups and Talkback



Master, Monitor, Tape and Solo

## MIDAS VENICE シリーズ 性能仕様書

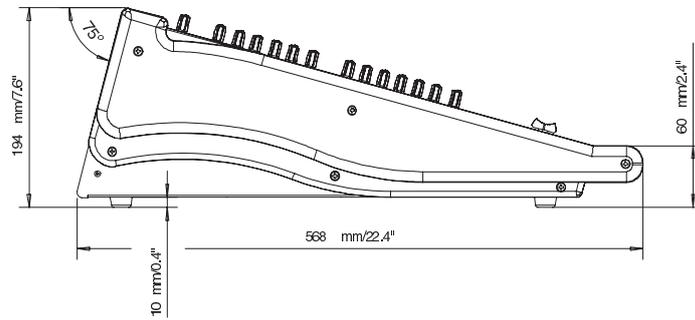
機能と仕様	Venice 16	Venice 240	Venice 320
入力 (合計)	30	38	46
モノ-入力 (MIC/LINE)、インサート	8	16	24
ステレオ-ライン/モノ-マイク-入力チャンネル	4/4	4/4	4/4
ステレオ-エフェクト-リターン (ライン)	4	4	4
ステレオ-テープ-リターン (ライン)		1 (L/R)	
<b>バス (Busses)</b>		15	
サブグループ		4	
AUX-プリフェーダー (モニター)		2	
AUX-ポストフェーダー (エフェクト)		2	
AUX-プリ/ポストフェーダー		2	
マスター-L/R		2	
モノ-PFL		1	
ステレオ-AFL		2	
<b>出力</b>			
サブグループ	4 (インピーダンスバランス)、1/4inch ホーンジャック		
AUX-プリフェーダー (mon)		2 (XLR バランス)	
AUX-ポストフェーダー (fx)	2 (インピーダンスバランス)、1/4inch ホーンジャック		
AUX-プリ/ポストフェーダー (AUX)		2 (XLR バランス)	
マスター、インサート		2 (XLR バランス)	
マスター-B 出力		2 (XLR バランス)	
(モノ/ステレオ、プリ/ポストフェーダー切換え)			
テープ送り		1 (ステレオ/RCA)	
ダイレクトアウト	8	16	24
ステレオヘッドホーン		2 (ステレオ-1/4inch ホーンジャック)	
ステレオスピーカー		2 (インピーダンスバランス)、1/4inch ホーンジャック	
<b>寸法 (mm/inch)</b>			
幅	490/19.3	698/27.5	906/35.7
奥行	568/22.4	568/22.4	568/22.4
高さ	194/7.6	194/7.6	194/7.6
<b>重量(kg/lbs)</b>	16.4/36.2	21.1/46.5	25.8/56.9
<b>消費電力量</b>	75W	95W	120W
<b>主電源電圧</b>	100V/110V/120V/220V/230V/240V、50-60Hz		
<b>付加機能</b>			
デスクライト用コネクター		2 (12V/5W、4-PIN XLR)	
19inch ラックマウントキット	YES	—	—
回転可能なコネクターパネル	YES	—	—
外部電源 (ESP1200 本体は、含まれていません)	—	YES	YES
アクセサリ		ダストカバー (付属品)	
		12V デスクライト (別売品)	
		入力トランス (別売品)	

## Venice 技術仕様書

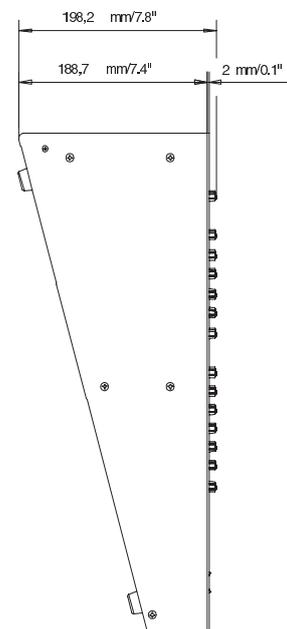
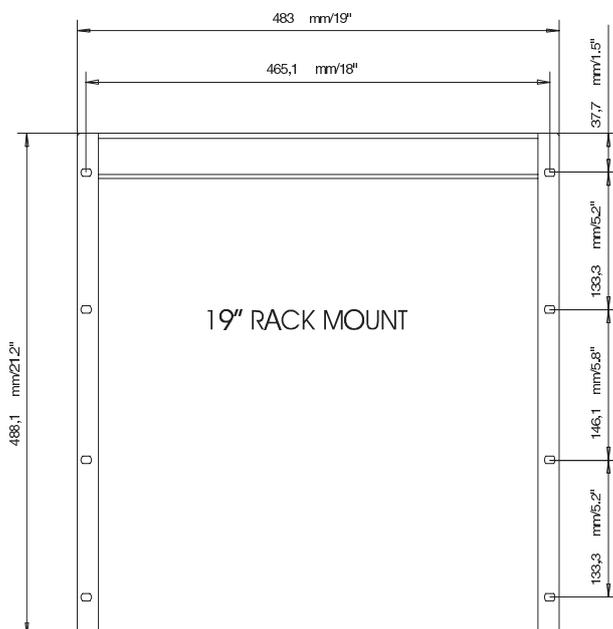
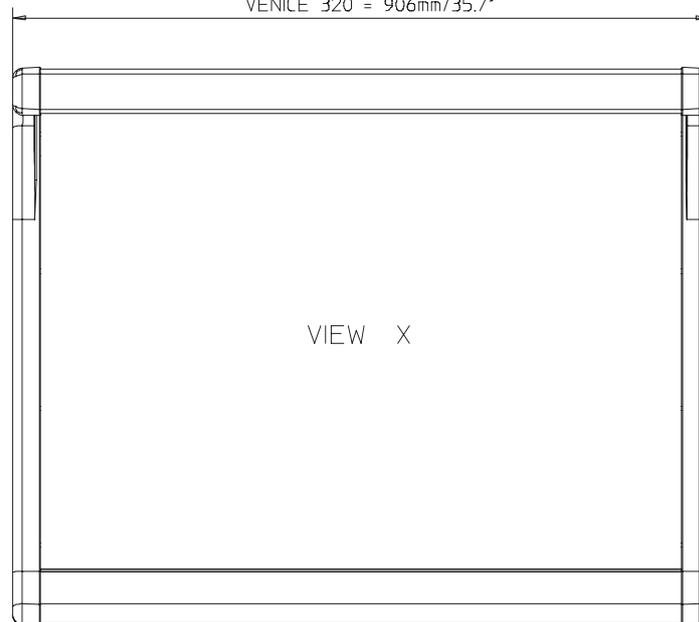
入力インピーダンス	マイク ライン	2 k バランス 20 k バランス
入力ゲイン	マイク ライン モノ チャンネル ライン ステレオ チャンネル ライン レベル入力	0 dB ~ +60 dB (連続可変可能) -20 dB ~ +40 dB (連続可変可能) -20 dB ~ +20 dB (連続可変可能) 0 dB
最大入力レベル	マイク ラインレベル入力 ラインモノチャンネル ラインステレオチャンネル	+22 dBu +22 dBu +42 dBu +28 dBu
CMR (100Hz)	マイク (ゲイン +40 dB)	Typ.75 dB
CMR (1 kHz)	マイク (ゲイン +40 dB) ライン	> 85 dB > 45 dB
周波数特性 (20Hz ~ 20 kHz)	マイクミックス (ゲイン +60 dB)	+0 dB ~ -1 dB
ノイズ (20Hz ~ 20 kHz)	マイク (ゲイン +60 dB、EIN ref. 150ohms)	-129dBu
システムノイズ (20Hz ~ 20 kHz)	サミングノイズ (16 ch フェーダーダウン) ラインミックスノイズ (16 ch フェーダー 0 dB、パンセンター)	-90 dBu -86 dBu
歪み (1 kHz)	マイクインサート (+3 dBu ゲイン、+20 dBu 出力) マイクミックス (+30 dBu ゲイン、+20 dBu 出力)	Typ.0.0007% < 0.009%
クロストーク (1 kHz)	チャンネルーチャンネル ミックスーミックス チャンネルーミックス フェーダーアッテネーター スイッチリジェクション	< -80 dB < -80 dB < -80 dB > 100 dB > 100 dB
出力インピーダンス	全てのライン出力 ヘッドホーン	75Ohms (バランスソース) ~ドライブ 320hms
最大出力レベル	XLR マスター出力 XLR 出力 (マスター以外) 全ての 1/4inch ジャック出力 ヘッドホーン	+25 dBu +22 dBu +22 dBu +22 dBu/600ohms
公称信号レベル	マイク ライン	-60 dBu ~ 0 dBu 0 dBu
イコライザーモノチャンネル	ハイパススロープ ハイパス周波数 トレブルゲイン  トレブル周波数 ハイミッドゲイン	12 dB/Oct 80Hz +15 dB ~ -15 dB (連続可変可能、 センタークリック = 0 dB)  12 kHz +15 dB ~ -15 dB (連続可変可能、 センタークリック = 0 dB)

	ハイミッド周波数	400Hz ~ 2 kHz
	ハイミッドバンド幅	1Oct.(Q=1.4)
	ローミッドゲイン	+15 dB ~ -15 dB (連続可変可能、 センタークリック= 0 dB)
	ローミッド周波数	100Hz ~ 2kHz
	ローミッドバンド幅	1Oct.(Q=1.4)
	ベースゲイン	+15 dB ~ -15 dB (連続可変可能、 センタークリック= 0 dB)
	ベースシェルビング周波数	80Hz
イコライザーステレオチャンネル	ハイパススロープ	12 dB/Oct
	ハイパス周波数	80Hz
	トレブルゲイン	+15 dB ~ -15 dB (連続可変可能、 センタークリック= 0 dB)
	トレブル周波数	12 kHz
	ハイミッドゲイン	+15 dB ~ -15 dB (連続可変可能、 センタークリック= 0 dB)
	ハイミッド周波数	3kHz
	ハイミッドバンド幅	1.4Oct.(Q=1)
	ローミッドゲイン	+15 dB ~ -15 dB (連続可変可能、 センタークリック= 0 dB)
	ローミッド周波数	300Hz
	ローミッドバンド幅	1.4Oct.(Q=1)
	ベースゲイン	+15 dB ~ -15 dB (連続可変可能、 センタークリック= 0 dB)
	ベースシェルビング周波数	80Hz

# 外觀圖



VENICE 160 = 490mm/19.3"  
VENICE 240 = 698mm/27.5"  
VENICE 320 = 906mm/35.7"







Midas Consoles Japan Division   ダイヤルイン：03-6661-3801  
URL:<http://www.midasconsolesjapan.com>   Email:[info@midasconsolesjapan.com](mailto:info@midasconsolesjapan.com)



本 社 〒 130-0011 東京都墨田区石原 4-35-12   TEL 03-6661-3825 FAX 03-6661-3826  
大阪営業所 〒 531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-4-14-602   TEL 06-6359-7163 FAX 06-6359-7164  
URL:<http://www.bestecaudio.com>   Email:[info@bestecaudio.com](mailto:info@bestecaudio.com)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する事があります